

副知事の人事案件に関する質疑（要旨）

2018/10/4

まつぎ真琴

私は、日本共産党県議団として、ただいま提案されました、議案第100号「鹿児島県副知事の選任について同意を求める件」に対して、質疑を行います。

三反園知事は、県知事選挙のマニフェストに女性副知事登用を掲げておられ、県政史上初の女性副知事が誕生し、県民、ことに女性は大きな期待をいたしました。しかしながら、この2年間の議会での議論をみると、今議会も含めて、女性副知事について、まるで知事自身がその活躍を望んでおられないかのような質問が相次ぎました。

そこであらためておたずねいたします。

質問の第1は、知事が、女性の副知事を登用する意義についてどのように考えておられるかお聞かせください。

第2に、本県においては、副知事の2名体制となって以来、うち一人は、中央省庁からの出向者を任用されています。そこでおたずねします。今回提案された方は、厚生労働省の出身ですが、中央省庁から招かれる理由は何か、また厚生労働省の出身者とされた理由をお聞かせください。

最後に、今回提案されたおさかかおり氏に、副知事として、知事を補佐するという仕事のほか、どのような活躍を期待されているかお聞かせください。

以上、質疑といたします。